

静岡市都市景観表彰選考委員会 議事録

1 日 時 令和5年7月14日（金）14時50分～16時00分

2 場 所 葵消防署 7階 講堂

3 出席者

（委員）（○：委員長）

○寒竹 伸一、土屋 和男、藤田 祐司、マハラジャン ディリプ、松尾 憲宏、
本田 武志

（事務局）齋藤建築部長、中川建築総務課長

都市景観推進係：山西係長、水崎主任技師、古永家技師

4 欠席者 1名

5 傍聴者 0名

6 選考事項

静岡市都市景観表彰選考事業 まちかどコレクション 2022-`23 における受賞物件の選定

7 委員会内容

- ・開会挨拶（山西係長）
- ・出席者6名／7名 条例等施行規則第57条第2項の規定により、会議成立
- ・議事録署名人の指名（寒竹 伸一 委員長、藤田 祐司 委員）
- ・発言内容（次ページより参照）
- ・閉会挨拶（齋藤建築部長）

事務局 「静岡市都市景観表彰選考事業 まちかどコレクション 2022-'23」の選考過程と評価シートの点数化について説明。本原委員の講評コメントの代読。

寒竹委員長 まずは受賞物件5件を選んだほうが良いのではないのでしょうか。①苔聖園、②olive、③kano café /outdoor kano、⑦アルティエには1位の票が入っていて、点数も高いので受賞で良いと思います、悩ましいのが、点数が高いが1位票のない④望月竹次郎商店と点数が低いが1位票が入っている⑩歴史博物館周辺のまちなみのどちらを受賞とするかです。皆さまの意見をお聞きしたいです。

本田委員 ④は、本原委員の意見にもあるように、ソフト的な話の方が多かったのではないのでしょうか。それが評価されてこのような点数になったのかと思います。ただ、ソフト的なので、1位票は入らず2位票、3位票が入って点数が高くなったのかと思います。そういう意味で、まちかどを表彰するというでソフト面を評価するのはどうかとも思います。そういう意味では、ハード的なぱっと見た景観などで⑩歴史博物館周辺のまちなみが評価されて1位票も入った気がします。

寒竹委員長 受賞の5番目を④にするか⑩にするかという比較の話ですね。

本田委員 はい。

寒竹委員長 あと、⑧プラモニュメントポストも2位票が1票入っていますね。これも点数的には、全体の真ん中あたりですね。皆さんこれについて意見どうですか。そのあたりで5つの受賞物件を決められればと思います。

松尾委員 私が⑩歴史博物館周辺のまちなみに1位票を入れましたので説明させていただきます。私はこれを完全に「まちなみ」として評価しました。建物のディテールではありません。歴史博物館ができて周辺環境が良くなり、翼檜もあり、最近ライトアップもされている。あのエリアの歴史をきちんと世間の皆さんに伝えるような場所になってきているのではないかと思います。そして、みんなが興味を持ちやすい場所になってくれるのではないかと、そんな印象を持っています。

寒竹委員長 ありがとうございます。では⑩に2位票を入れた方。意見をお願いします。

デザイン委員 歴史博物館ができた後に何回か来たことがあります。松尾委員がおっしゃったように、まちなみにモダンと歴史の両方がある。それに、ちょっとした静岡の歴史を蘇らせているところじゃないかと感じている。それと今日、館内に入ってみたら、色々な資料も取り上げているので、今後静岡の歴史を学ぶための良い場所になるのではないかと思います、こちらに2位票を入れました。受賞することで今後注目してもらうところにしていきたいと思います。外国人観光客も増えてくると思いますし、静岡市に来るときは⑩は見に来る場所になるのではと思います。

寒竹委員長 ありがとうございます。3位票を入れた方、意見をお願いします。

本田委員 先ほど話しましたとおり、ハードウェアとしてあの空間をどう捉えるかという中で、自由に空間が取れていて、なおかつ設計思想が周辺に調和しようとしているところを評価したいです。もう一つは、現在観光バスが停まっているところも今後開発が

広がっていくので、そのリーディングとしてあそこが整備されたというのは、意味がある事だと思いき3位にしました。

寒竹委員長 ありがとうございます。

土屋委員 私は④望月竹次郎商店に2位票を入れました。皆さまがおっしゃるとおりソフト面の使われ方が評価されて高得点が付いていると思います。一方で田舎のガソリンスタンドというのは各地で様々なところであって、大体どこも廃屋状態になっています。しかし④は、ああいう形で活用していて何かある種の普遍性があるように思いました。それは地域のコミュニティ施設としての使われ方です。元々ガソリンスタンドというのは、そういう役割をしていたところがあると思うので、田舎の近隣の人たちが集まる寄合場のように活用されているのは、ここを評価することで他の同じような場所でも、ヒントをあげることができるのかなと思いました。よって2位票を入れました。

藤田委員 ⑩を受賞対象にするかどうかという点で意見をさせていただきます。私は造園緑化協会という立場ですので、今回緑を意識して評価しました。そこであえて行政がやっているようなところは、まちかどコレクションという事業の趣旨としてどうかと思うこともあって、評価を低くしています。それから、⑩は街路樹が植栽されていますが、特別変わった街路ではないので評価を低くしました。

デイルプ委員 確かにそう感じますね。もう少し自然が欲しいです。

寒竹委員長 ありがとうございます。皆さまの意見を聞くと、④の345点と⑩の291点は50点以上の差がありますが、⑩がそれを逆転するための価値があるかという話になると、⑩は悪くはないけどそこまでの価値はなさそうですかね。公平性から考えると、やはりこの点数はある程度意味を持っていますので、点数以上の理由があれば逆転できそうですが、そこまでの革新的な理由はなさそうですか。

本田委員 景観を、「人の営みを含めて景観」とするのであれば④が良いと思います。都市景観に対するまちかどコレクションなので、まちなみとしてどうかという観点で、ハードにこだわったのですが、「人の営み」を含めて、と考えるのであれば他の委員の皆様の見解どおりで構いません。

寒竹委員長 では⑩ではなく、④が受賞でよろしいでしょうか。

本田委員 はい。

松尾委員 私も元々④は高い点数を付けていました。ただ最終的に1～3位を付けるにあたって、ハードウェアとしての評価に切り替えたただけなので、④が受賞で問題ありません。

寒竹委員長 ④のお店の方に話を聞いたら、昔はお酒も売っていたということだったので、昔はものすごいビッグスーパーマーケットだったのかもしれないですね。それを今では、ガソリンはやめたけど、そういう営みを続けているという時間的にもまちなみとしてのがんばりを感じますね。

松尾委員 近所に大型ドラッグストアができたときに酒屋をやめたそうです。それで角打ちの

場所がなくなってしまったのでカフェにしたそうです。

寒竹委員長 そうなんです。では受賞物件は①②③④⑦から選ぶとすることにしましょう。次はこの中から、大賞を選びます。⑦アルティエは総合点数では3位ですが1位票が2票入っています。1位票を入れた方、意見ををお願いします。

本田委員 ①はものすごく綺麗で夜の写真も気に入っています。しかしまちかどと言う観点で、それをどう他人に説明するかとなったときに、⑦はプライベート空間とパブリックスペースがうまく組み合わさっていて、みんなが集まる場所を作ろうとしている非常に先進的な取組をしており、また大屋根のインパクトも含めて1位票を入れました。

ディップ委員 ⑦は、家族で一緒にあそこに行ったときに、子どもたちが遊んで喜んでいました。ちょっとした遊び場があり、自然もあり雨を防ぐ屋根もある。そして地域密着型で誰でも気軽に入ることができる。まわりに店が沢山あるのにそこには人が入っていないがここには居るといえるのは、大人から子どもまで遊べる地域の一つの目玉ではないかと感じます。

寒竹委員長 2位票を入れた方意見ををお願いします。

藤田委員 都市景観で考えたときに、ハード面のデザインについて私は詳しくないので分かりませんが、人が集まってくるということもあり万人から評価されているものとして良いと思います。

寒竹委員長 樹木的にはどうですか。

藤田委員 樹木的には寂しいです。

寒竹委員長 私もそう思っていました。屋根をあれだけ高くしたら光も入るし雨も入る。樹木が一番うれしいまちかどではないかと思います。キッチンカーで小さい緑は売っていますが少し緑が寂しい。

藤田委員 イベント用にレイアウトを自由にしたいから樹木が少ないのではと私は思いました。

寒竹委員長 そうかもしれませんが、屋根があの高さだと人にとっては雨が入り込んで良くないです。高すぎるオーニングは日陰としても良くない。あのスケール感を出したいのであれば、それを補完するような木陰を作るとか、木を植えて雨宿りができるとか、何かそういう設えがあってもよかったなと思います。

寒竹委員長 3位票の方、意見ををお願いします。

松尾委員 ⑦は、やはり街に対するインパクトというのが大きいです。今日はたまたま人がいなかったですが、あそこができて人のたまり場ができたというのが大きいと思います。街に人のたまり場を作ろうと思っても大変で、人為的には絶対にできない。それが、⑦は街のたまり場として受け入れられている状況がすごく大きいと思います。僕も大屋根が大きすぎて雨も吹き込むとは思いますが。心理的な屋根ではなく、本当はしっかり軒や庇など機能するものにするとういと思のですが、結局せせこましくなってしまう。しかし、街並みの中であのデザインにしたというのが、とて

もインパクトもあり受け入れられているのだろうと思い3位票を入れました。

寒竹委員長 ①の1票は本原委員ですね。事務局、もう一度本原委員のコメントを読んでもらってよいでしょうか。

事務局 本原委員のコメント代読

寒竹委員長 ありがとうございます。もう一票は私です。私は6/30(金)に本原委員と事前にごくここを見に行きました。一般的に盆栽は一つ一つがとても高価で外には見せない。泥棒・盗難にもあうので、盆栽屋は塀で囲って店に入ってきた人だけが見る空間というのが伝統的になっていたのですが、この新しいオーナーさんは前任オーナーのお父さんの反対を押し切って塀を無くしました。泥棒、盗難のリスクを押し切ってまちに開けた場所にしたということを私は評価したい。それと盆栽は、最近の日本人は買わなくて、お金に余裕がある外国人が買っていく。だから外国の技術者も修行に来ているということもあって、⑦アルティエより①苔聖園の方が新しい感じがする。⑦は全国的によく見る手法です。ここだけ見たら新しいけど街に行けばよくある手法で時代的には普通です。そういう意味では、泥棒に盆栽を取られるかも知れないというリスクの中で、塀をガラスに変えたという方が新しい街並みとして感じ、1位票を入れました。盆栽という伝統的なものを新しい方法で見せている点で。

寒竹委員長 2位票を入れた方はどなたでしょうか。

本田委員 私です。物件個表を見て①が良いのは夜のライトアップだけかと思っていたのですが、現地視察したら昼でも奥まで見えて、きちんと情報発信できているということも非常に面白い空間でした。ただし、⑦アルティエも、確かに富山などでやられている手法ではありますが、静岡では初めてで、そういう点で私は高く評価しています。

寒竹委員長 ガラス張りの盆栽屋というのは世界で初めてかもしれませんね。その他②oliveに1位票入れた方。意見をお願いします。

藤田委員 ②oliveは花屋さんという感じではなく、塀が無く人が入りやすいデザインです。静岡ではこういうところが割と少ないです。他都市では、このようなオープンガーデンが盛んな街もあり、静岡でも是非このような事例が広がってもらえたらと思って評価しました。

寒竹委員長 ありがとうございます。③kano caféの1位票はどなたでしょうか。

土屋委員 私です。③は元々その地域の製材所が使われなくなって、そこをリノベーションしたという面白さと、カフェとショップを1つにしないで分けて、真ん中の広場も一体に使っているのも、あの田舎ならではの使い方で、さらに奥に見える山や隣に流れている川など、一つ一つの建物はそんなに大したものでもなく、全体的な一体感があのあたりの景観を引き立てていて単純に良いなと思いました。

寒竹委員長 ありがとうございます。②oliveに2位票、3位票を入れた方、意見をお願いします。

土屋委員 3位に入れました。角地という目立つ場所というのが1つ。そしてもう一つに、車

を停めるところの床のパーブメントが丁寧であったことです。写真を撮ると半分以上は地面が映りますし、地面を綺麗に作ることは景観上大事なことだと思っています。そういう意味で、地面を綺麗に作っている③olive を評価しました。

寒竹委員長 ありがとうございます。では大賞はどうでしょうか。機械的にいくと①が点数的に1位ですが、これは1位ではないという意見があれば教えてください。ただ、先ほど私が話したとおり、ここを大賞にすることで新しさにみんな気づいてほしいというメッセージを出せる気がするのです。盆栽がガラスのショーウィンドウっていうのが新しいなんて、説明されないと分かりませんからね。だから盆栽とガラスショーウィンドウの組合せの斬新さを選んだというところで、この審査委員も褒められるかもしれませんね。

土屋委員 どちらを大賞にするかという点で応援演説させてもらおうと、やはり私も①苔聖園に1票入れたいところです。確かに⑦アルティエはさきほどから何度も話が出ているように、街中にあのような空間を作ったと言うことは非常に評価したいです。ただ一方で他都市の事例と比べると、空間の質をもう少し頑張っただけ欲しいなっていう気持ちもあります。せっかくあれだけの空間をとったのであれば、後ろ側の壁や屋根の裏側や植栽など、もう少しなんとかならなかったのかなと思います。

デザイン委員 皆さんの意見を聞いていると確かに①が大賞として良いと思いますね。

本田委員 ⑦について補足説明をさせていただくと、先進事例は再開発とかバックに大企業がついているところが多いです。⑦はそうではなくて、市内の1企業が頑張っただけであそこまでやったので、そこに価値があると思います。ですので、他の先進事例と比較するのはどうか、と思うところがあります。

寒竹委員長 なるほど。ただデザイン的なことと言わせてもらおうと、壁画は下の方だけではなく、見上げるくらいの高さで描いてほしかった。そこが少し中途半端です。床は人工芝ですし、ステージに上がる段も高い。デザインを1ランク上げるためのもう少しの工夫が欲しかったですね。壁面すべてが壁画になってくればあの高さが生きてくるのですが、1/3くらいしか使っていない。建物両側に壁画を描くのであれば、その分の費用で1面に大きい壁画を描いてほしかったです。

松尾委員 ⑦は正直デザイナーとして言いたいことはいっぱいあります。①と⑦のどちらを大賞にするかという中で①が大賞になることに異論はないのですが、①を視察した時にびっくりしたことがあります。それは、もう少し場として作れなかったのか、ということです。あれだけ盆栽を隠さずに前に出して斬新だというのは分かるのですが、こういう景観賞の委員をするときは一市民というか、一般の何も知らない人の目線で見ると意識しています。そうしたときに、少し物足りなさを感じてしまいます。盆栽を外に見せるのであったら、見せ方についての説明がほしいし、すこしそっけないなと感じます。一方で⑦はデザイン的に言いたいことはいっぱいありますが、市民や街に受け入れられていると思います。そして、あの街の未来を感じました。ただ、①が大賞になることへの異論はないです。

寒竹委員長 点数差をひっくり返す異論はないということですね。

松尾委員 はい、やはり⑦はわきが甘いところがあります。

寒竹委員長 同じわきが甘いのであれば、前例がない①がよいですね。⑦は他でも見られる手法だから、それをここでやるのであれば、前例を越えたものを作って初めて価値が出てくると思います。であれば、完璧性にはかけるけど、新しい発想を評価するというで①が大賞で良いのではないのでしょうか。静岡は浜松よりやらまいか精神がないなんて言われますが、①を大賞にしたということでやらまいか精神を評価したというメッセージにもなるのではないのでしょうか。

本田委員 私は①が大賞で異論在りません。

寒竹委員長 では①荅聖園が大賞ですね。以降はすべて順位を付けないのでしたっけ。

事務局 それでも良いですし、前は2位を準大賞、3位以降は並列で優秀賞として、名前も付けました。

寒竹委員長 前回はそうであれば、選考会の度に賞がコロコロ変わると言うのもよくないので同じようにやりましょう。

他委員 それがいいと思います。

寒竹委員長 では準大賞が⑦アルティエでしょうか。または②olive でしょうか。

本田委員 僕はどちらかと言うと⑦アルティエですね。

寒竹委員長 その方がメッセージ性が出ますよね。大賞が盆栽で準大賞が⑦アルティエだと一見、なぜと思う人が出てくるとは思います、説明されれば分かる。準大賞が②olive だと大賞と傾向が似ていて意味がぼやけてしまう。では、準大賞が⑦アルティエですね。では次、優秀賞の名前を考えましょう。②olive に1位票を入れた方。どうでしょうか。

藤田委員 考えます。

寒竹委員長 ④望月竹次郎商店はどうでしょうか。

松尾委員 地域の居場所みたいな感じですよ。

寒竹委員長 地域の宝を表すような言葉があればいいですよ。

土屋委員 そのままそれでいいのではないのでしょうか。

寒竹委員長 では、「地域の宝賞」にしましょう。ガソリンスタンドがなくなったから潰す、という考えではなくて、地域の宝として見てほしいというメッセージを込めまして。

藤田委員 ②は住宅街のオアシス賞なんてどうでしょうか。

寒竹委員長 オアシス賞はどうですか。住宅街のオアシス賞だと少し長い。

本田委員 だったら、小さなオアシス賞はどうでしょうか。

寒竹委員長 でも砂漠にあるオアシスは砂漠に比べて小さいからね。オアシスは小さいものだから、小さなとか付けずにオアシス賞で良いと思います。⑦は「オアシス賞」にしましょう。

本田委員 そうしましょう。

寒竹委員長 ③kano caféはどうでしょうか。

土屋委員 田舎とか自然とかって言葉を入れたいですね。

松尾委員 借景とかすべてひっくるめて良かったですからね。

寒竹委員長 あそこは建物がセパレートされていて、その間から自然がきれいに見えていましたよね。まさにアウトドアって感じですよ。景色の扉を開けたみたいだね。景色の扉なんてどうですか。

他委員 良いと思います。

寒竹委員長 では③は「景色の扉賞」にしましょう。これで議論する内容は全て終わりですね。ここで進行を事務局にお返しします。

山西係長 ~今後のスケジュールの説明~

齋藤部長 ~最後のあいさつ~